

平成 25 年 1 月 16 日

会員各位

一般社団法人 日本耳鼻咽喉科学会
理事長 八木 聡明

予防接種法改正による 7 ワクチンの定期接種化を実現するための署名活動のお願い

日本医師会ならびに予防接種推進専門協議会から、子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、おたふくかぜ、成人用肺炎球菌、B型肝炎の 7 つのワクチンのすべての定期接種化に向け、速やかな予防接種法の改正の実現のための署名活動への協力を日耳鼻として求められました。そこで、検討の結果、日耳鼻としましては、本署名活動に賛同し、会員にご署名をお願いすることに致しました。ご賛同いただきましたなら、別添の署名用紙にご署名いただき、原本を日耳鼻事務局にお送りくださいますようお願いいたします。ご多忙中、誠に恐縮ですが、諸般の事情をご賢察いただき、ご協力いただければ幸甚に存じます。

なお、今回の署名活動期間は、平成 25 年 2 月 22 日までと極めて限定されておりますことを申し添えさせていただきます。

署名用紙に係わる注意事項

- 氏名・住所をボールペン等でご記入下さい。（鉛筆は不可）
- 印は不要です。代筆の場合もサイン及び印は不要です。
- 苗字・住所が同じ場合でも略式で記入しないで下さい。
- 署名用紙不足の可能性がある場合は、予めコピーいただくか、日本医師会ホームページ（<http://www.med.or.jp/vpd/>）からダウンロードして下さい。
- 署名用紙の原本を2月22日までに日耳鼻事務局までご送付下さい。FAX不可です。
〒108-0074東京都港区高輪3-25-22 一般社団法人 日本耳鼻咽喉科学会

趣意書

わが国では、子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、おたふくかぜ、成人用肺炎球菌、B型肝炎などのワクチンは任意接種であり、日本の予防接種政策は世界から大きく遅れているのが実情です。

厚生科学審議会感染症分科会予防接種部会において平成24年5月23日に取りまとめられた「予防接種制度の見直しについて（第二次提言）」では、「医学的・科学的観点からは、7ワクチン（子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、おたふくかぜ、成人用肺炎球菌、B型肝炎）について、広く接種を促進していくことが望ましい。」とされています。

ワクチンで防ぐことができる病気（VPD：Vaccine Preventable Diseases）からひとりでも多くのひとを救うために、予防接種法を改正し、地域間や経済的格差なく、希望するすべてのひとが定期接種でこれらのワクチン接種が受けられる制度を早期に実現させる必要があります。

日本医師会と予防接種推進専門協議会は、7つのワクチンの定期接種化に向け、速やかな予防接種法の改正の実現のため署名活動を行うことといたしました。

国民の皆様にも広くこの活動の趣旨をご理解いただき、ひとりでも多くの方にご署名賜り、国への働きかけの力とさせていただきたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成25年1月

日本医師会
会長 横倉 義武

予防接種推進専門協議会
委員長 岩田 敏

資料 1
平成24年12月22日

予防接種推進専門協議会加盟学会 各位

予防接種推進専門協議会
委員長 岩田 敏

予防接種法改正による7ワクチンの定期接種化を
実現するための署名活動の実施について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より本協議会会務運営に種々のご高配を賜り深く感謝申し上げます。

さて、厚生科学審議会感染症分科会予防接種部会において平成24年5月23日に取りまとめられた「予防接種制度の見直しについて（第二次提言）」では、「医学的・科学的観点からは、7ワクチン（子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、おたふくかぜ、成人用肺炎球菌、B型肝炎）について、広く接種を促進していくことが望ましい。」とされました。

しかしながら政府においては、これら7ワクチンの定期接種化については、財源の問題により、平成22年度から補正予算で時限的に公費助成されている子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象である3つのワクチン（子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌）を優先する動きもあります。

日本医師会と予防接種推進専門協議会は、諸外国とのワクチンギャップを解消し、ワクチンで防ぐことができる病気（VPD：Vaccine Preventable Diseases）からひとりでも多くのひとを救うために、7つのワクチンのすべての定期接種化に向け、速やかな予防接種法の改正の実現のため、署名活動を行うことといたしました。

本署名活動については、全国民を対象とすることとし、できるだけ多くの方々にご賛同いただき、ご署名いただきたいと考えております。

つきましては、署名活動を別添により実施いたしたく、特段のご協力を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。署名活動の具体的な方法につきましては、署名用紙等の書式を貴学会誌に同封する、あるいは貴会ホームページからダウンロードして使用していただくなど、種々方法があると思いますが、基本的には貴会にお任せいたしますので、実施しやすい方法でお願いいたします。また、貴会会員に対する周知協力方につきましても、併せてお願い申し上げます。

なお、本署名活動にかかる費用につきましては、貴会のご負担で実施していただきますよう宜しくお願い申し上げます。

署名の回収方法の詳細は、別紙手順のとおりですが、貴会におかれましては、会員からの署名数を集計いただき、様式2および署名用紙を平成25年2月27日（水）までに日本医師会宛お送りいただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

さらに、地域住民に対する本活動の広報につきましても、ご高配のほど重ねてお願い申し上げます。

敬具

